

漁村集落の集住環境特性と生活実態に関する研究
 —フィリピン・ギマラス島の Alman Norte 集落を対象として—

21219022 志村 遥
 指導者 葉袋 奈美子 准教授

フィリピン ギマラス島 漁村集落
 地域コミュニティ 空間構成 観光開発

1. 研究背景と目的

本研究はフィリピン・ギマラス島の Alman Norte 集落を対象として、集落の空間構成・住居・生活・コミュニティ形成拠点を明らかにする事を目的としている。

近年、フィリピン共和国全体で観光開発が進み、セブ島等のリゾート地を中心に外国人観光客数が増加している¹。中でもギマラス島は、農村ツーリズムに関する各省委員会らに農業ツーリズムの Visaya 地方地域モデルサイトとして位置づけられ、西 Visaya 地方の開発計画における重要観光拠点となっている²。観光客の殆どはフィリピン人だが、語学留学で隣島の Panay 島 Iloilo 市に滞在する韓国人や日本人、欧米人等の外国人観光客も増加している。

Alman Norte 集落はギマラス島南部の Nueva Valencia 市・LaPaz 村にある人口 155 人³の小さな漁村集落である。村では、マングローブ林やサンゴ礁破壊を伴う沿岸環境劣化を防ぐために漁業規制が敷かれ、特に沖合約 1.3km に位置する Taklong 島は政府に海洋生態保護区(National Marine Reserve)に指定された島内唯一の保護対象地である。また、LaPaz 村・Cabalagnan 村には住民とマングローブ植林等を行なう日系 NGO LOOB が介入しており、日本人との繋がりも形成されている。本稿では、こうしたエコツーリズムの進展や外国人流入、自然景観保護等の要因が集落に与えている影響にも着目した。

2. 研究対象と調査方法

LaPaz 村 Alman Norte 集落の空間利用と生活実態を明らかにするため、目視による観察調査と村民 9 世帯を対象としたヒアリング、住宅調査を行った。また、村役場において、村長を含む職員 4 名から村の情報を収集した。

住民の生活行動範囲を調査するに当たって、隣村にある Cabalagnan National High School の生徒 80 名を対象としたアンケート調査を行い、居住地・保護者の職業による生活行動範囲の特性や相違点、通学範囲を明らかにした。(調査期間：2015 年 8 月 27 日～9 月 6 日)

3. Alman Norte 集落の生活実態

3-1 生活インフラ及び生活変化

電気のみ電力会社によって全住宅に供給されている。給水は共用又は個人の井戸から汲むのが大半だが、飲料水のみ都市部のスーパー、近隣の村の市場、宅配で購入、

専用の有料の井戸を利用する人もいる。排水設備はなく、生活排水はそのまま地面に流しているため、洗濯水や歯磨き粉による土壌汚染が心配である。調理には薪や木炭を使用するのが一般的だが、ガスを購入してコンロで調理している家庭もある。ゴミは、有機物は燃やして無機物は地面に穴を掘って埋めており、プラスチック製品等の堆積が懸念される。携帯電話のみ所持しているが、電波が受信出来る場所が集落の北西部の 1 ヶ所しかなく、日常的な使用者は限られている。

また、近年の観光開発の影響で行政が整備している道路が拡張、村全体では一部がコンクリートで舗装される等、整備が進んだ。「観光開発の進展を感じたことがあるか」、「生活への影響はあるか」という問いに対して、9 世帯中 7 世帯が観光開発の進展を感じており、それに伴う生活の変化があったと回答した。なお、残り 2 世帯は観光開発とは無関係の生活の変化⁴があったと回答したため、観光開発の進展を感じているかは不明である。また、その影響として表 1 に示す事例が挙げられた。

Taklong 島の観光客や研究者、NGO 等、外部から出入りがあるが、住民の生活に大きな変化はないといえる。

表 1: 観光開発による影響

プラス	マイナス
インフラ整備(道路拡張等)	
島全体への設備投資増加	
漁獲物の販売価格上昇	物価上昇
所得増加	所得減少
外部からの人の流入による賑わい創出	

3-2 住宅及び生活空間形成

大半の住居は、ポーチ・リビング・台所・トイレ(浴室)(離れとして独立していることが多い)・寝室の 5 要素により、居住空間が構成されている。

個室は寝室のみであり、家族でリビングや庭等で一緒に過ごしていることが多い。個室は重視されておらず、一部の富裕層住宅を除き、住宅は地域に開放的である。

ポーチ・玄関・リビング・庭のベンチや小屋に人が集まることが多く、誕生日会など特別な集まりにはリビングが好まれているが、日常的には庭に集まるが多い。総じて、室内よりも半屋外・屋外空間を好む傾向にある。また、誕生日会には近隣住民が殆ど参加すると話しており、濃密な地域コミュニティが形成されていた。

どの住宅にも広い庭があり、特に井戸や商店(Sarisari Store)、竹製の小屋・ベンチが近隣住民との重要なコミュニティ形成空間となっている。特に小屋やベンチはお喋

り・休憩・宴会等、様々な場面で利用されており、「涼しくて快適」という理由から小屋で寝ている住民もいる。

住民は親族で近居している場合が多く、住宅建設時には家族や大工だけでなく、近隣住民らも協力して建築している。また、一括では建築費用を賄えないため、材料が調達出来次第、段階的に建設している。大きな道路や橋は行政が整備しているが、自宅用の道や共用の小規模な橋は住民自身が協力して建設している。

3-3 地域コミュニティ形成拠点

集落の公共施設は教会と多目的広場のみであり、集落の全行事や月 1 回の定例会議がここで行われるため、重要なコミュニティ拠点になっている。また、ほぼ全員が行事に参加する理由を尋ねたところ、「狭いコミュニティの中で不参加は目立つ」、「特に参加しない理由がない」という回答が得られた⁶。多目的広場は子供の遊び場としても利用されており、バスケットボールに興じる少年達や幼児・小学生らの少人数での歩行遊びが見受けられた。公共設置物であるジブニー⁷停留所や橋の欄干、共用井戸も住民交流の場となっており、腰かけられる設置物がある場所の滞留時間は非常に長い。集落の主要道路である Barangay Road にある橋の欄干は腰かけるのに適しており、ジブニー停留所も非常に近いことから、主要交通拠点になっていると考えられる。公共施設の他に、住宅や商店も重要なコミュニティ形成拠点となっており、集落全体で私的空間と公共空間の境界が非常に曖昧である。この曖昧性が、地域のコミュニティ形成にも大きく影響していると考えられる。(表 2 参照)

表 2: Alman Norte 集落のコミュニティ形成拠点

<p>Alman Norte 集落の空間構成</p>		<p>教会・多目的広場</p>
<p>ジブニー停留所</p>	<p>橋</p>	
<p>商店 (Sarisari Store)</p>	<p>住宅</p>	

3-4 生活行為と場所

Sarisari Store では駄菓子やジュース・洗剤等、少量の雑貨しか買えないため、店の仕入れや近隣では買えない商品を買うためにモールがある Jordan 市や Panay 島 Iloilo 市まで出かける住民が多い。また、集落の教会ではミサが月 1 回しかないため、礼拝と一緒に隣の Cabalagnan 村の市場で日用品を買う人が多く、モールとの併用も多い⁸。一方、仕事場は自宅周辺の田畑や海という住民が多く、集落内で生活が閉じていると言える。子供の遊び場は主に自宅や近隣住宅であり、高校生になると学校周辺や Panay 島 Iloilo 市まで行動範囲が広がる⁹。

4. Cabalagnan 高校生徒の生活拠点と生活行動範囲

通学者が 10 人以上の 4 地域 (Cabalagnan, Canhawan, Igdarapdap, 島 (Guiwanon + Panobolon)) の普段と特別な時¹⁰の生活行動範囲を集計した結果、Canhawan 村と島の 2 地域は日常的に対岸の Negros Occidental 島に行っている一方、その他 2 地域では Panay 島に行く場合が多く、Negros 島には特別な時以外は行かないことが分かった。これは地理的要因によるものと考えられる。(図 1 参照)

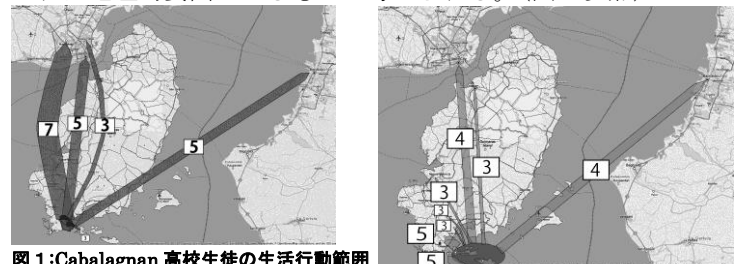


図 1: Cabalagnan 高校生徒の生活行動範囲 (左図: Cabalagnan 村在住者の特別な時、右図: 島在住者の普段)

5. 結論

ギマラス島漁村集落における地域コミュニティは、親族の近居や自由に家を行き来する民族性等の背景があり、極めて密接に形成されていることが分かった。また、集落だけで生活を完結せず、島内だけでなく周辺の島等、生活行動範囲が広い住民が多いことが分かった。

外部からの人や物の流入に対しても住民が伝統的な生活を維持している実態が明らかになり、今後のエコツーリズムの進展においては、伝統への尊重とコミュニティ拠点を重視した施策が必要であると考えられる。

【注釈・参考文献】

- Philippines Department of Tourism: Visitor Arrivals To The Philippines By Country Residence 等
- 西川芳昭: 東南アジアにおける農村ツーリズム振興—フィリピン・ギマラス島の事例調査を通じて— (久留米大学産業経済研究第 46 巻 3 号 2005 年)
- LaPaz 村役場の統計データ参照 (2014 年 1 月時点)
- 子供が独立した、出稼ぎで海外や都市部に引越した等。
- 世帯で代表 1 名 (妻の場合が多い) が出席し、集落行事準備等について約 1 時間話し合う。
- ヒアリング調査を実施した 7 世帯やその他の住民による回答結果に基づく。
- 乗合い制のバスのこと。AlmanNorte 集落 (LaPaz 村) の運航は、1 日に 2 本のみ。
- ヒアリング調査を実施した 9 世帯中 6 世帯が Iloilo 市や Jordan 市のみ、または近隣の商店とモールの併用、その他 3 世帯が集落内や Cabalagnan 村だけで買い物しており、高校生のアンケート調査でも同様のパターンが多くみられた。
- 目視による集落の観察調査やヒアリングを実施した Hechanova 家の高校生の息子、高校生のアンケート調査結果に基づく。
- 親戚に会いに行く、祭りに参加する、モールへ行く等、特別な理由で出かける時の行動範囲を示す。